

川崎宗則選手(プロ野球)を講師に招いたフェアプレースクール

オンラインでつないで5校同時に開催

現役や引退したトップアスリートがフェアプレーの大切さを伝える「フェアプレースクール」。昨年度の中学校を対象にしたスクールでは、北海道、埼玉県、岐阜県、広島県、大分県の学校がオンラインで参加。講師には、かつてメジャーリーグでも活躍し、現在も独立リーグの栃木ゴールデンブレーブスで活躍する川崎宗則選手を招きました。生徒のフェアプレー作文の発表、川崎選手からのフェアプレーについての話、そして運動タイムなどの交流を通じて各校の生徒の皆さんも盛り上がりました。

「どうしたら野球がうまくなりますか」という川崎選手への質問には、「言われたことをただ行うのではなく、自分で考えて挑戦すること。それを何度も繰り返すことが大切です。」



オンラインで5校をつないで開催



川崎選手に促されて5校が同時に運動

失敗してもいいのがスポーツだから、どんどんチャレンジしてください」との答え。生徒たちは真剣に聞き入っていました。

スポーツを通して学んでほしいこと

フェアプレースクール後に川崎選手に話を伺いました。「僕は子どもたちと野球教室を行なっていますが、その時に大切にしていることは、相手に野次を飛ばしたり味方のミスを責めたりするのは、絶対にしないこと。それを守る子



川崎 宗則選手
1999年福岡ダイエーホークス入団
2012年からメジャーリーグで活躍
現在は栃木ゴールデンブレーブスに所属

たちが集まれば、チームワークもよくなり、気持ちよく野球が楽しめるチームになります。そういう経験をすることで、スポーツが学びにもなると思います。仲間を信じ、思いやりを持つ大切さは、日常生活でも大人になっても活かせることですからね。」

小学校の講師は、星奈津美さん(元水泳選手)



ロンドン・リオ五輪の200mバタフライで連続銅メダルを獲得

小学校を対象にしたフェアプレースクールでも、5校同時に開催。オンラインピック選手である星さんを講師に招きました。本年度も下記で募集しておりますので、ご覧ください。

川崎選手とのかけがえのない時間

フェアプレースクール



まずは、フェアプレー作文の発表です

今回は、フェアプレースクールの様子を紹介しますよ



バレーボールで得点係をしていた相手の選手が私たちのプレーにも拍手してくれてとても気持ちよく試合ができました



試合を周りで支えてくれる人の行動にも気づけたこともフェアプレーですね



運動タイム

30秒動いて30秒休むトレーニングをやるよ一緒にジャンプ!

みんな一生懸命で離れていても熱気が伝わってきたよ!



素晴らしい!自分のできることを考えてみんなのためになることを実行したんだね

きっとチームメイトも君の行動に気づいて感謝してると思うよ



はい、その上腕も鍛えられて強いボールが打てるようになりました

このスクールを通じて、選手と生徒が交流しながら、フェアプレーについて知ったり、考えることができたね。今日学んだこと、日常生活でも活かせるかな



みんなありがとう!

今日はみんなのお話が聞けていっぱい元気をもらいました